

バスケットボール戦評記入用紙

大会 関東高等学校バスケットボール大会 埼玉県予選会
 日時 5月 18日 土 曜日 第 1 試合 E コート 時刻 9:00
 記入者名 中村 敬子

A チーム	得点		得点	B チーム
山村学園	66	$\left(\begin{array}{cc} 23 & - & 13 \\ 16 & - & 16 \\ 9 & - & 22 \\ 18 & - & 14 \end{array} \right)$	65	大宮東
高校				高校

<戦 評>

有望な新人を多く迎え、さらに戦力が充実した山村学園とねばり強さでどこまで食らいつくか虎視眈々と狙う大宮東の楽しみな一戦。

- 1 P 両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。山村学園は積極的にコーナーでダブルチームを仕掛け、相手に楽にプレーをさせずゲームの主導権を握る。オフェンスでは#11がスピードあふれる1対1で果敢に攻め、相手のファウルを誘う。残り5分で、層の厚い山村学園はメンバー5人全員交代。メンバーが替わっても#4が積極的にドライブを仕掛けて大宮東のファウルを誘い、大宮東のチームファウルが5つとなりフリースローで得点を重ねる。23-13 山村学園10点リードで終了。
- 2 P 出だしは引き続き山村学園のペースでゲームが進む。#11が面白いようにボールサイドカットから得点して差が開き、完全に山村学園のペースかと思われたが、残り3分 大宮東は山村学園が下級生主体のメンバーに変えたところでオールコートプレスを仕掛け、#4、#7の連続3Pが決まり、一気に波に乗る。結局このピリオドは16-16の互角で終了。
- 3 P 後半に入り、山村学園は上級生主体のチームでスタートするが、ディフェンスが甘くなったところを大宮東は#8、#7の連続3Pシュートや、#6のリバウンドの頑張りで46-39と7点差に詰めたところで山村学園がタイムアウト。山村学園は、メンバーを入れ替えてなんとかゲームの流れを変えようとするが大宮東の勢いは止まらず、残り1分40秒で48-48の同点となり、#14の3Pで逆転に成功。48-51 驚異的な3P攻撃で大宮東の3点リードで終了。
- 4 P 最終ピリオドは一進一退の攻防が続く。山村学園は、#4、#11が踏ん張り、大宮東は、大黒柱のセンター#6、シューターの#7が意地を見せる。#6にパスが入らなくなった大宮東は#7がいいタイミングでシュートが打てなくなり、攻め手がなくなる。残り1分11秒で64-61と山村学園が3点リードしたが、大宮東は#7、#6が意地でねじ込み64-65と1点リード。さらに山村学園#11がドライブで入れ返し66-65と再び山村学園リード。残り23秒で大宮東の攻撃となるが、山村学園は大宮東の#6と#7を徹底的に押さえ、試合終了。大宮東の惜敗であったが、インターハイ予選に期待を抱かせる好ゲームであった。